

## 合併の検証にあたって

長岡市は、11 地域がそれぞれの地域特性や資源を相互に連携させて、新たな価値を生み出す「共存共栄」を基本理念に、10 年かけてゆるやかに合併していこうという共通理解のもと、平成に入り 3 度の合併を行いました。

合併に当たっては、共存共栄のまちづくりに向けて、「長岡方式の地域自治」として、編入される旧市町村にそれぞれ支所と地域委員会を設置し、地域住民の不安の解消だけでなく、地域住民と行政とが一体となったまちづくりを進めてきました。

このたびの合併の検証は、合併の良し悪しではなく、今後のまちづくりをどう進めていくかという視点で課題を探り、その対応を明らかにすることを目的に実施しました。これはゆるやかな合併の中間である 5 年間の検証することで、残り 5 年間の方向性をしっかりと定められると考えたからです。

検証の過程で、地域の皆様からいただいた声は、合併というカタチによる不安ではなく、今現場で起きている問題や将来に対する心配、つまり、少子化や高齢化といった社会の中で、いかに安全安心に暮らせるかという切実な思いでありました。

また、合併直前に発生した 7.13 水害、中越大震災、そして中越沖地震など度重なる大災害に見舞われた中でも、市民の「前より前へ」という力強い心と行動で、各地域で地域資源を生かしたまちづくりが積極的に展開されるなど、市民力、地域力の高まりをあらためて確認することができました。

これらの検証結果により、住民サービス、基盤整備などの推進と、市民力、地域力の向上の 2 つの分野における、まちづくりの課題を整理することができました。今後は、課題の解決に向けて、各種経済団体や町内会、NPO などの地域づくり団体と連携を深めるとともに、長岡方式の地域自治を推進し、これまで以上に住民と行政が一体となったまちづくりに取り組んでまいります。

長岡市長 森 民 夫